

薬学部履修要項 別表

学年	科目名		開講期	単位	備考
第1学年	基礎科目	医療サイエンス(数理科学)	前期	1	2科目必修
		医療サイエンス(物理科学)	前期	1	
		医療サイエンス(物質科学)	前期	1	
		医療サイエンス(生命科学)	前期	1	
		English for Healthcare Communication	前期	1	必修
		基礎コミュニケーション	前期	1	
		<b>健康と運動の科学</b>	前期	1	
	アカデミックスキルズ	前期	1		
	ドイツ語A	前期	1	3科目選択必修	
	フランス語A	前期	1		
	中国語A	前期	1		
	日本語文章論A	前期	1		
	文学A	前期	1		
	美術A	前期	1		
	人間と宗教	前期	1		
	ジェンダーの社会学	前期	1		
	社会関係と自己	前期	1		
	民主主義と政治構造	前期	1		
	法学	前期	1		
	数学	前期	1		
	医療心理学	前期	1		
	感染症とバイオセーフティ	前期	1		
	情報リテラシー	前期	1		
	療法的な音楽活動	前期	1		
	医療人のための教養とマナー*	前期	1	必修	
	専門科目	薬学への招待	前期		1
	人体の成り立ちと機能I	前期	1		
	生命活動を担う分子(生命の基本単位)	前期	1		

学年	科目名		開講期	単位	備考
第1学年	基礎科目	人の行動と心理	後期	1	必修
		ヒューマニティ	後期	1	
		<b>健康とスポーツの科学</b>	後期	1	
		チーム医療の基盤	後期	1	
		Paragraph Writing	後期	1	
		生物統計	後期	1	
		ドイツ語B	後期	1	
	フランス語B	後期	1		
	中国語B	後期	1		
	日本語文章論B	後期	1		
	文学B	後期	1		
	美術B	後期	1		
	医療人としてのコミュニケーション入門	後期	1		
	現代ジェンダー論	後期	1		
	歴史遺産への招待(京都)	後期	1		
	法学	後期	1		
	感染症とバイオセーフティ	後期	1		
	死生観	後期	1		
	現代社会学	後期	1		
	国際政治学	後期	1		
	ポータランド州立大学サマープログラム	後期	1	必修	
	感性を掘り下げる色彩と造形	後期	1		
	医療人のための教養とマナー*	後期	1		
	熱力学・化学平衡概論	後期	2		
	有機化合物の構造と性質	後期	1		
	人体の成り立ちと機能II	後期	1		
	生命活動を担う分子(細胞構成因子)	後期	2		
	初年次体験実習	後期	1		
	薬学演習	後期	1		

第1学年	専門科目	<b>薬用植物・生薬演習</b>	通期	1	必修
		<b>漢方薬になる動植物</b>	通期	1	
	基礎科目	Freshman English	通期	2	
		地域医療入門	通期	2	
		医療サイエンス演習	通期	1	

前期必修科目数 13科目  
前期必要単位数 13単位

後期必修科目数 15科目  
後期必要単位数 17単位  
通期必修科目数 4科目/必要単位数 6単位  
最低履修科目数 32科目/必要単位数 36単位

※太字は実習・演習科目  
\*は開講しない科目

## 薬学部履修要項 別表

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目
第2学年	基礎	講義	薬学英語の基礎 1	前期	1	必修	
	専門	講義	物質の状態と変化	前期前半	1	必修	○
	専門	講義	有機化合物の反応	前期前半	1	必修	○
	専門	講義	生命活動を担う分子(物質輸送とエネルギー産生)	前期前半	1	必修	○
	専門	講義	人体の成り立ちと機能Ⅲ	前期前半	1	必修	○
	専門	講義	化学平衡	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	人体の成り立ちと機能Ⅳ	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	薬の宝庫としての天然物	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	生命活動を担う分子(代謝とその調節)	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	薬の作用と生体内運命	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	個人・集団・社会と健康	前期後半	1	必修	○
	専門	講義	微生物と感染症	前期後半	1	必修	○
	基礎	講義	薬学英語の基礎 2	後期	1	必修	
	専門	講義	物質の構造	後期	1	必修	○
	専門	講義	医薬品の検出と定量	後期	1	必修	○
	専門	講義	官能基の化学	後期	1	必修	○
	専門	講義	生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)	後期	1	必修	○
	専門	講義	生体防御反応を担う組織、細胞、分子	後期	1	必修	○
	専門	講義	生活環境と健康	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範 I	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(悪性腫瘍)	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(感染症)	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬の効き方	後期	1.5	必修	○
	専門	演習	在宅チーム医療と倫理 T B L II (学部連携)	前期前半	0.5	必修	
	専門	演習	コミュニケーション	前期後半	0.5	必修	
	専門	演習	生と死	後期	1	必修	
	専門	演習	生理から病態へ 演習	後期	1	必修	
	専門	演習	薬学基礎から薬物治療へ 演習	後期	1	必修	
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロップメント ※1	通期	-	必修	
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修	
	専門	実習	物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法	前期前半	1.5	必修	
	専門	実習	医薬品の化学 実習	前期後半	1.5	必修	
	専門	実習	人体の成り立ちと機能 実習	前期後半	0.5	必修	
	専門	実習	診療の流れを知る 実習	前期後半	1	必修	
	専門	実習	生命体の成り立ち 実習	後期	2	必修	
合計				履修科目数35科目 (うち2科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数34単位			

○ 対象科目(前期11科目、後期10科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロップメントは、2年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 キャリアデザインは、2年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 18科目

前期必要要件単位数 17.5単位

最低履修科目数 33科目 必要要件単位数 34単位

後期必修科目数 15科目

後期必要要件単位数 16.5単位

## 薬学部履修要項 別表

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目
第3学年	専門	講義	薬学英語 1	前期	1	必修	
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	前期	1	必修	○
	専門	講義	溶液の性質	前期	1	必修	○
	専門	講義	生体分子の化学	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬物の体内動態	前期	1	必修	○
	専門	講義	生体防御反応の応用と免疫疾患	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(神経・精神系疾患)	前期	1.5	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(呼吸器系疾患)	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(消化器系疾患)	前期	1	必修	○
	専門	講義	臨床で用いる分析技術	前期	1	必修	○
	専門	講義	処方箋と調剤	前期	1	必修	○
	専門	講義	製剤の性質	前期	1	必修	○
	専門	講義	医薬品情報と患者情報	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬学英語 2	後期	1	必修	
	専門	講義	製剤設計	後期	1	必修	○
	専門	講義	機器分析	後期	1	必修	○
	専門	講義	医薬品の化学	後期	1	必修	○
	専門	講義	生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)	後期	1	必修	○
	専門	講義	医薬品・化学物質の代謝反応	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬物動態の解析	後期	1	必修	○
	専門	講義	栄養と健康	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(循環器系疾患)	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)	後期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(泌尿器系・生殖器系疾患)	後期	1	必修	○
	専門	講義	社会保障制度と医療経済	後期	1	必修	○
	専門	演習	薬剤師の使命	前期	1	必修	
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル1(神経疾患)	前期	1.5	必修	
	専門	演習	薬剤師に求められる倫理観	後期	1	必修	
	専門	演習	研究倫理と統計	後期	2	必修	
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)	後期	0.5	必修	
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	後期	2	必修	
	専門	演習	薬学基礎と臨床の複合演習	後期	1	必修	
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロップメント ※1	通期	-	必修	
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修	
	専門	実習	健康と環境 実習	前期	1	必修	
	専門	実習	調剤・患者対応入門 実習	前期	1	必修	
	専門	実習	薬の効くプロセス 実習	前期	1	必修	
	専門	実習	急性期医療と薬剤師 実習	後期	1	必修	
	専門	実習	薬学研究入門 ※3	後期	-	必修	
合計				履修科目数 39科目 (うち3科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数38.5単位			

○ 対象科目(前期12科目、後期11科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロップメントは、2年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 キャリアデザインは、2年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

※3 薬学研究入門は、3年次から履修し、第4学年において単位を認定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 18科目

前期必要要件単位数 19単位

最低履修科目数 36科目 必要要件単位数 38.5単位

後期必修科目数 18科目

後期必要要件単位数 19.5単位

## 薬学部履修要項 別表

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目
第4学年	専門	講義	薬となる化合物の構造と性質	前期	1	必修	○
	専門	講義	分子・細胞から生理・病態へ	前期	1	必修	○
	専門	講義	漢方医学の実践	前期	1	必修	○
	専門	講義	日常生活と健康	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬物送達システム	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節・アレルギー疾患)	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬と疾病(血液・小児・皮膚・免疫疾患)	前期	1	必修	○
	専門	講義	個別化医療	前期	1	必修	○
	専門	講義	地域医療とプライマリーケア	前期	1	必修	○
	専門	講義	薬毒物と中毒	前期	1	必修	○
	専門	講義	放射性医薬品の利用と管理	後期	1	必修	○
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ	前期	1.5	必修	
	専門	演習	EBM演習	前期	1	必修	
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)	前期	0.5	必修	
	専門	演習	輸液と栄養	前期	0.5	必修	
	専門	演習	実務と基礎の複合演習	後期	1	必修	○
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロプメント ※1	通期	-	必修	
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修	
	専門	実習	薬学研究入門	前期	6	必修	
	専門	実習	臨床実習事前学修	後期	4	必修	
	専門	実習・演習	ファーマシューティカルケアプログラム ※3	後期	-	必修	
	専門	実習	薬局実習※3	後期	-	必修	
合 計				履修科目数22科目 (うち4科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数25.5単位			

○ 対象科目(前期10科目、後期2科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロプメントは、2年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 キャリアデザインは、2年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

※3 ファーマシューティカルケアプログラム、薬局実習は、4年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 15科目

前期必要要件単位数 19.5単位

最低履修科目数 18科目 必要要件単位数 25.5単位

後期必修科目数 3科目

後期必要要件単位数 6単位

## 薬学部履修要項 別表

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	
第5学年	専門	演習	アドバンスト薬学英语 ※1	後期	-	必修	
	専門	演習	応用薬学演習 ※1	後期	-	必修	
	専門	実習・演習	ファーマシューティカルケアプログラム※2	通期	9	必修	
	専門	実習	学部連携病棟実習	後期	1	必修	
	専門	実習	薬学研究実践プログラム ※1		後期	-	選択必修
			症例研究実践コース				
			臨床研究実践コース				
			基盤研究実践コース				
	専門	実習	学部連携地域医療実習 I・II ※1	後期	-	自由選択	
	専門	実習	海外における薬剤師の役割を知る	後期	②	自由選択	
	専門	演習	アドバンスト薬学英会話 ※1	後期	-	自由選択	
	専門	演習	キャリアデザイン ※3	通期	0.5	必修	
	専門	実習	病院実習2	通期	12	必修	
専門	実習	薬局実習※2	通期	10	必修		
合計			最低履修科目数8科目 (うち3科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数32.5単位				

※1 応用薬学演習、薬学研究実践プログラム、アドバンスト薬学英语、学部連携地域医療実習、アドバンスト薬学英会話は、5年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 ファーマシューティカルケアプログラム、薬局実習は、4年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

※3 キャリアデザインは、2年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

後期必修科目数 2科目

通期必修科目数 3科目

後期必要要件単位数 10単位

通期必要要件単位数 22.5単位

最低履修科目数 5科目 必要要件単位数 32.5単位

## 薬学部履修要項 別表

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択
第6学年	専門	演習	アドバンスト薬学英語 ※1	前期	1	必修
	専門	演習	応用薬学演習 ※1	前期	9	必修
	専門	演習	総合薬学演習 ※2	前期	-	-
	専門	実習	薬剤師の臨床判断	前期	②	自由選択
	専門	実習	学部連携地域医療実習 I	前期	②	自由選択
			学部連携地域医療実習 II		④	
	専門	演習	集中講義 ※3			
	専門	実習	薬学研究 I	通期	17	選択必修 ※4
			薬学研究 II		16	
			薬学研究 III		15	
合計				最低履修科目数 3科目 必要要件単位数 26単位以上 ※4		

<卒業までに修得する単位数：191.5単位以上を必要とする>

※1 応用薬学演習、アドバンスト薬学英語は、5年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 総合薬学演習は、卒業に必要な単位修得済みの学生を対象として開講する。新たな単位は付与しない。

※3 集中講義は、単位認定対象外とする。

※4 自由選択科目(薬剤師の臨床判断、学部連携地域医療実習 I・II)を選択しない学生については、「薬学研究 I」を履修する。「薬剤師の臨床判断」、5年次または6年次「学部連携地域医療実習 I」、あるいは5年次「海外における薬剤師の役割を知る」のいずれか1科目を履修した学生は「薬学研究 II」を履修する。5年次または6年次「学部連携地域医療実習 II」を選択した学生、あるいは「薬剤師の臨床判断」と5年次または6年次「学部連携地域医療実習 I」を選択した学生は「薬学研究 III」を履修する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 2科目

前期必要要件単位数 10単位

最低履修科目数 3科目 必要要件単位数26単位以上

通期必修科目数 1科目

通期必修単位数 15単位以上